

一般的注意事項: 実験試験

実験試験は5時間で、合計20点満点である。

試験の開始と終了は試験監督が合図する。試験開始の合図の前に問題の入った封筒やフォルダーを開けないこと。経過時間のアナウンスが、1時間ごと、および終了15分前にある。

試験中

- ペンまたはボールペンを使用すること。鉛筆で図やグラフなどの下書きをしてもよいが、コントラストよく明瞭にスキャンされるように、最終的な答えはペンで輪郭をなぞる、鉛筆で特に濃くはっきりと書くなどの注意をすること。

- Aと書かれた解答用紙は、最終的な解答を書き、グラフを描くためのものである。問題文の指示に従って、必要な観測結果を適切な表やボックスに書き、対応するグラフを描くこと。Wと書かれた白紙のワーキングシートは、詳細な作業のためのものである。解答には必ず問題番号を記入し、その問題のワーキングシートを使用すること(ヘッダーの問題番号を確認せよ)。シートに採点されたくないことが消し残っているときはその部分にバツをつけること。すべてのページの表側だけを使うこと、また、枠外には何も書かないこと。

- 白紙の用紙が足りない場合は、試験監督に申し出ること。受け取った用紙のヘッダーに、国番号、学生番号(ワーキングシートからコピーせよ)、ページ番号を記入すること。

- 解答はできるだけ簡潔に。可能な限り、方程式、論理演算子、考え方を表すスケッチなどを使って、どう考えたかを説明すること。長い文章は避けること。

- 明示的に要求されない限り、誤差の計算は必要ない。ただし、数値の答えが求められたときには、適切な有効桁数に注意すること。また、特に指示がない限り、データ点の数や測定の繰り返しの回数も適切に決めること。

- それより前にある問題を解いていなくても、後の問題は解けることがある。

- 試験中はすべて監視され記録される。許可なく机を離れることはできない。トイレやその他の必要(シートやペン、水やお菓子の追加)がある場合は、試験監督に知らせること。

試験終了時に

- 試験の終了が告げられたら、直ちに筆記を中止すること。

- すべての問題について、対応するシートを次の順序で揃えておくこと: 上から、カバーシート、解答用紙(A)、ワーキングシート(W)、空白または余分なシート。これらのシートは、試験監督によってスキャンされ、サーバーにアップロードされる。

- 一つの問題に属するすべてのシートを同じ封筒またはフォルダーに入れる。一般的注意事項(G)と問題シート(Q)は、封筒またはフォルダーに入れずに机の上に置いておくこと。

- 試験監督が許可したら、試験会場を離れることができる。試験場から何も持ち出すことはできない。